

平成21年3月期(2009年3月期) 第2四半期連結決算 及び 通期業績見通し

平成21年3月期 第2四半期連結決算のポイント

鉄鋼業界では、国内では建材需要の落ち込みがみられたものの、造船、自動車、産業機械など製造業向けを中心に需要は堅調に推移し、輸出についても中国を始めとしたアジア諸国向け需要は好調に推移した。また、鉄鉱石や原料炭などの原材料やスクラップの価格高騰を背景に、鋼材価格が大きく上昇した。
これにより、売上高は主に鋼材価格の大幅な上昇、鉄鋼原料・燃料の取扱増により、前年同期比3,116億円増収の15,038億円。

経常利益は、JFE商事単体の増益(46億円)を始めとして国内外の連結子会社の増益(73億円)が寄与し、前年同期比111億円増益の308億円。

四半期純利益は、前年同期比61億円増益の178億円。

総資産は、主に販売単価の上昇に伴う売上債権や棚卸資産の増加等により、前期末比1,244億円増の7,808億円。
有利子負債は、法人税等の支払及び販売単価の上昇に伴う運転資金の増加等により、前期末比305億円増の1,269億円。

純資産は、配当金の支払い(28億円)や自己株消却(51億円)、株価下落によるその他有価証券評価差額金の減少(18億円)や円高

【損益計算書】	当第2四半期 (4-9累計)	前年同期	増減額	増減率
売上高	15,038	11,922	3,116	+26%
売上総利益	583	441	142	+32%
(売上総利益率)	(3.9%)	(3.7%)	(+0.2%)	
販売費及び一般管理費	287	267	20	+7%
営業利益	296	174	122	+70%
受取利息	5	7	2	
支払利息	16	15	1	
(金利収支)	(11)	(8)	(3)	
受取配当金	9	6	3	
(金融収支)	(2)	(2)	(0)	
持分法投資利益	9	13	4	
その他営業外損益	5	12	7	
営業外損益	12	23	11	
経常利益	308	197	111	+56%
特別利益	-	7	7	
特別損失	9	7	2	
法人税等	111	76	35	
少数株主利益	10	4	6	
四半期純利益	178	117	61	+52%

(億円)

売上高

JFE商事(単独)	
(国内鉄鋼)	+508
(海外鉄鋼)	+625
(原材料・資機材)	+1,485
国内建材系分社3社	+407
海外CC(コイルセンター)	+13
その他子会社	+379
連結修正他	301
計	+3,116

売上総利益

JFE商事(単独) +42億円、国内建材系分社3社 +22億円
海外CC +18億円、その他 +60億円

販売費及び一般管理費

減価償却費等及びその他経費の増

営業利益

売上総利益の増142億円に販売費及び一般管理費の増20億円を加味した結果、前年同期比122億円(70%)増の296億円

営業外損益

持分法による投資利益の減(4億円)、および為替予約の評価益の減等により、その他営業外損益が7億円の減。

経常利益

営業利益の増加122億円に営業外損益の減11億円を加味した結果、前年同期比111億円(56%)増の308億円

特別利益

【前期】 固定資産売却益 +7

【当期】 たな卸資産評価損 5

特別損失

減損損失 4

【前期】 減損損失 5

役員退職慰労引当金繰入 2

【要約貸借対照表】	当四半期末	前年度末	増減額
総資産	7,808	6,564	1,244
純資産	1,243	1,172	71
有利子負債	1,269	964	305
有利子負債倍率(DER)	1.08倍	0.87倍	0.21倍
自己資本比率	15.1%	17.0%	1.9%

(億円)

売上債権 +844(J商 +498、国内建材系分社3社 +205 他)、
現金 +165、棚卸資産 +153(J商 +104、他)

利益剰余金 +99(利益178、配当 28、自己株消却 51)、
評価換算差額 34(株式 18、為替 16)、少数株主 +6

J商 +318 (CP +230、借入 +88)、為替変動による影響 18 他

「有利子負債÷(純資産-少数株主持分)」

「(純資産-少数株主持分)÷総資産」

【キャッシュ・フロー計算書】	当第2四半期 (4-9累計)	前年同期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	18	18	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	85	85	0
フリー・キャッシュ・フロー	67	67	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	242	242	0
現金及び現金同等物の増減	167	167	0

(億円)

税前利益 +299、減価償却費 +28、営業債権債務 40、在庫増 160、税金の支払 123 他

固定資産の取得 54 (J商 19、栃木シャリング 17 他) 他

CP +230、借入 +89、自己株式の取得 43、配当 28 他

【セグメント情報】

単位:億円

セグメント	売上高			営業利益			主な内訳
	当第2四半期 (4-9累計)	前年同期	増減額	当第2四半期 (4-9累計)	前年同期	増減額	
鉄鋼および鉄鋼周辺	14,812	11,634	+3,178	293	172	+121	原料価格高騰に伴う鋼材価格の上昇。鉄鋼原料の輸入数量の増加および販売価格の上昇(JFE商事(単独))。
食品	167	206	39	3	1	+2	水産物や中国産缶詰の取扱減少等により売上減。営業利益は「フライドドラフト」、発売60周年の「ナギのコンビ」やGEISHA缶の取扱数量増により増益。
半導体	57	79	22	1	2	1	デジタルカメラ及びゲーム機器向けASIC製品の販売が減少したことにより、売上高・営業利益ともに減。
不動産	2	3	1	1	1	+0	保有不動産の早期売却に取組む。
合計	15,038	11,922	+3,116	296	174	+122	

【損益計算書項目の内訳】

(億円)

売上高	当第2四半期 (4-9累計)	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	11,906	9,288	+2,618	+28%
(鉄鋼)	6,885	5,752	+1,133	+20%
(原材料・資機材・他)	5,021	3,536	+1,485	+42%
(分社3社)	2,209	1,802	+407	+23%
(海外CC)	485	472	+13	+3%
(その他子会社)	2,108	1,673	+435	+26%
連結子会社	4,802	3,947	+855	+22%
連結修正	1,872	1,570	302	
JFE商事(連結)	14,836	11,665	+3,171	+27%
分割3社他	202	257	55	21%
JFE商事HD(連結)	15,038	11,922	+3,116	+26%

(億円)

経常利益	当第2四半期 (4-9累計)	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	178	132	+46	+35%
(分社3社)	34	22	+12	+55%
(海外CC)	27	10	+17	+170%
(その他子会社)	81	37	+44	+119%
連結子会社	142	69	+73	+106%
持分法適用会社	9	13	4	31%
連結修正	25	20	5	
JFE商事(連結)	304	194	+110	+57%
分割3社他	4	3	+1	+33%
JFE商事HD(連結)	308	197	+111	+56%

(億円)

四半期純利益	当第2四半期 (4-9累計)	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	120	83	+37	+45%
(分社3社)	17	13	+4	+31%
(海外CC)	21	7	+14	+200%
(その他子会社)	49	24	+25	+104%
連結子会社	87	44	+43	+98%
持分法適用会社	9	13	4	31%
連結修正	35	24	11	
JFE商事(連結)	181	116	+65	+56%
分割3社他	3	1	4	-
JFE商事HD(連結)	178	117	+61	+52%

【平成21年3月期 通期業績および配当予想】

(億円)

通期連結業績	今回公表時 (10/31)	前回公表時 (7/31)	当初計画 (4/28公表)	H20.3期 実績
売上高(前期比)	28,600 (+18.9%)		27,400	24,047
営業利益(前期比)	500 (+33.5%)		435	374
経常利益(前期比)	500 (+27.4%)		430	392
当期純利益(前期比)	285 (+21.7%)		245	234

1株当たり年間 配当(普通株)	10円	10円	10円
--------------------	-----	-----	-----

中間配当 : 5円

(為替 = 上期実績 : 105.13円 / ドル 下期前提 : 100円 / ドル)

【概要】

鉄鋼業界においては、国内外の景気の減速を受け、自動車など一部の製造業において減産傾向が見られ、需要は不透明感が強まっており、鋼材価格についても、市況に軟化傾向が見られるなど、今後の動向を注視する必要があるものと思われる。

通期の連結業績については、今後の国内外の需要および価格動向が不透明であり、下半期においては厳しい環境が予想されるが、上半期の業績が好調であったことから、売上高は2兆8,600億円、営業利益は500億円、経常利益は500億円、当期純利益は285億円と過去最高